

アビガン錠 200mg

【この薬は？】

販売名	アビガン錠 200mg AVIGAN Tablets 200mg
一般名	ファビピラビル Favipiravir
含有量 (1錠中)	200mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗インフルエンザウイルス剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、インフルエンザウイルスの増殖を抑えることでインフルエンザの症状を緩和します。
- ・次の目的で処方されます。

新型または再興型インフルエンザウイルス感染症（ただし、他の抗インフルエンザウイルス薬が無効または効果不十分なものに限る。）

- ・この薬は、他の抗インフルエンザウイルス薬が無効または効果不十分な新型または再興型インフルエンザウイルス感染症が発生し、本剤を使用すると国が判断した場合にのみ、患者さんへの投与が検討されます。
- ・この薬は、細菌感染症には効果がありません。
- ・この薬は、小児等に対する使用経験はありません。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して飲むのを中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬は動物において催奇形性（胎児に奇形が生じる可能性）が確認されているので、妊婦または妊娠している可能性がある女性は使用することはできません。患者さんやご家族の方は【この薬を使う前に、確認すべきことは？】および【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。
- 妊娠する可能性のある女性は、この薬の使用開始前に妊娠検査を行い、妊娠していないことを確認します。また、この薬を使用している間および使用を終了してから7日間以内に性交渉を行う場合は、パートナーと共に極めて有効な方法で必ず避妊してください。
この薬を使用している間に妊娠が疑われた場合は、ただちに使用を中止し、医師に連絡してください。
- この薬は精液中に移行するので、男性がこの薬を使用している間および使用を終了してから7日間以内に性交渉を行う場合は、極めて有効な方法（男性は必ずコンドームを着用）で必ず避妊してください。また、この期間中は胎児への影響が考えられるので妊婦との性交渉は行わないでください。
- この薬を使用する場合、患者さんまたはご家族の方は有効性や危険性（胎児への影響を含む）について十分理解できるまで説明を受け、文書で同意してから使用が開始されます。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある女性
 - ・過去にアビガン錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・痛風または過去に痛風になったことがある人および高尿酸血症のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無又は種類にかかわらず、インフルエンザにかかった時は、異常行動を発現した例が報告されています。
異常行動による転落等の万が一の事故を防止するために、患者さんまたはご家族の方は以下の点について理解できるまで十分に説明を受けてください。
 - ・異常行動があらわれるおそれがあります。また、転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動については、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現することが多いことが知られています。
 - ・自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者の方は転落等の事故に対する防止対策を講じてください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

	1 日目	2 日目から 5 日目
一回量	8 錠	3 錠
飲む回数	1 日 2 回	1 日 2 回

この薬は、インフルエンザ様症状があらわれてから速やかに使用が開始されます。

●**どのように飲むか**

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●**飲み忘れた場合の対応**

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に 1 回分をできるだけ早く飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、1 回とばして次の時間に 1 回分飲んでください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は動物において催奇形性が確認されているので、妊娠する可能性のある女性がこの薬を使用している間および使用を終了してから 7 日間以内に性交渉を行う場合は、パートナーと共に極めて有効な方法で必ず避妊してください。
- ・この薬を使用している間に妊娠が疑われた場合は、ただちに使用を中止し、医師に連絡してください。
- ・この薬は精液中に移行するので、男性がこの薬を使用している間および使用を終了してから 7 日間以内に性交渉を行う場合は、極めて有効な方法（男性は必ずコンドームを着用）で必ず避妊してください。また、この期間中は胎児への影響が考えられるので妊婦との性交渉は行わないでください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
異常行動 いじょうこうどう	異常行動、普段と違うとつぴな行動をとる、急に走り出す、徘徊する

同類薬（抗インフルエンザウイルス薬）であられる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあらわれる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。





重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
肺炎 はいえん	発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿が減る、むくみ、体がだるい
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
好中球減少 こうちゅうきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み

血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
精神神経症状（意識障害、譫妄、幻覚、妄想、痙攣等） せいしんしんけいしょうじょう（いしきしょうがい、せんもう、げんかく、もうそう、けいれんとう）	幻覚、妄想、興奮、抑うつ、意識の低下、意識の消失、軽度の意識混濁、興奮状態、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、根拠が無いのに、あり得ないことを考えてしまう、論理的な説得を受け入れようとしない、顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
出血性大腸炎 しゅっけつせいだいちょうえん	激しい腹痛、血が混ざった下痢、発熱、ふらつき、息切れ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱、体がかゆくなる、急激に体重が増える、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、むくみ、突然の高熱、寒気、出血が止まりにくい、顔や手足の筋肉がぴくつく
頭部	めまい、意識の消失、急な意識の低下、妄想、興奮、抑うつ、意識の低下、軽度の意識混濁、興奮状態、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、根拠が無いのに、あり得ないことを考えてしまう、論理的な説得を受け入れようとしない、一時的にボーっとする
顔面	顔面蒼白（そうはく）、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ、幻覚
口や喉	喉のかゆみ、咳、痰、血を吐く、吐き気、唇や口内のただれ、喉の痛み、歯ぐきの出血
胸部	動悸、息苦しい、息切れ
腹部	お腹が張る、食欲不振、激しい腹痛
手・足	手足が冷たくなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、あおあざができる
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、血が混ざった下痢
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る
その他	異常行動、普段と違うとっぴな行動をとる、急に走り出す、徘徊する

【この薬の形は？】

PTP シート			
形状	円形の錠剤		
	表	裏	側面
			
直径	8.7 mm		
厚さ	4.3 mm		
重さ	263mg		
色	淡黄色		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ファビピラビル
添加物	ポビドン、軽質無水ケイ酸、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、クロスポビドン、フマル酸ステアリルナトリウム、ヒプロメロース、酸化チタン、タルク、黄色三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社: 富士フイルム富山化学株式会社(<http://fftc.fujifilm.co.jp>)

製品情報センター

電話番号：0120-502-620

受付時間：9:00～17:00

(土曜・日曜・祝日・当社休業日を除く)